

富岳（ふがく）とわたし

計算速度ランキングで世界 1 位となったスーパーコンピューター「富岳（ふがく）」と報道されていました。どんどんコンピュータは日進月歩で進化します。スマートフォンには何十万曲の歌がインストールしてあって聞き放題。全部聞き終えるまでには千年も万年も寿命が必要です。翻って自分を見ると、なんとも哀れな状態です。1 時間も物事に集中出来ない。腰痛、歯痛、耳が遠くなり、目もかすむ、折角結婚のお祝いに書いた額を持って行く途中に訪問先の自宅 10 歩手前で躓き、額のガラスは割れて、まさか、「割れましたとから」いって届けるわけにはいかない。泣き泣き足を引きずりながら帰りました。光陰矢の如し、時間は容赦なく過ぎ去ります。こういう時には、自分は自分以外に変わりがないということをわきまえ、自分に与えられた仕事を確実にこなすことです。あれもしたい、これもしたい、これらの欲を捨て、残された時間を充実して送るのです。たとえば、散歩をするとか、本を読むとか、瞑想するとか。無駄なようですが、そうするとなにかヒントが浮かぶのです。